

平成22年度 事業報告書

平成22年4月1日 から 平成23年3月31日

特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構

1 事業実施の成果

平成22年度は、皮膚疾患に関連する調査・研究の端緒として尋常性ざ瘡を患っている患者を調査対象とし、患者QOL（クオリティ・オブ・ライフ）及び併用療法に関する研究を行った。また、皮膚の健康に貢献する為の実務研修・啓発活動として皮膚科医療従事者を中心に関東・関西にてセミナーを開催した。

2 事業の実施に関する事項

特定営非利活動に係る事業

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従業者 の人数	受益対象者の 範囲及び人 数	支出額 (千円)
皮膚の健康に 貢献する為の エビデンス(医 学的根拠)創出 事業	尋常性ざ瘡に対する外用抗菌薬とアダパレン外用併用効果の検証	平成22年4月 から平成23年 3月	全国	10名	皮膚科医療関係者(20,000人)	72,750
皮膚の健康に 貢献する為の エビデンス(医 学的根拠)創出 事業	経口抗ヒスタミン薬痒痒抑制効果と眠気発現に関する検討	平成22年7月 から平成23年 3月	全国	10名	皮膚科医療関係者(20,000人)	82,640
皮膚の健康に 貢献する為の エビデンス(医 学的根拠)創出 事業	再発型単純ヘルペス治療実態調査	平成22年10月 から平成23年 3月	全国あ	10名	皮膚科医療関係者(20,000人)	8,915
皮膚の健康に 貢献する為の 啓発活動事業 費	A型ボツリヌス製剤 施術テクニカルセミナー開催	平成22年4月 から平成22年 10月	全国各地	5名	皮膚科医療関係者(200名)	27,930